

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) フジコピアン株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 555-0012 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号	
本票作成	部署名：フジコピアン株式会社 岡山工場 生産技術部 生産技術グループ 設備保全チーム				
主たる業種	分類コード	15	業種名：印刷・同関連業		
事業の概要	情報記録媒体の製造販売。当岡山工場では、情報記録媒体のインクリボン・修正テープ・機能性フィルムの製造をしている。従業員数：202人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		勝田郡勝央町太平台12番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	13,999 t CO <sub>2</sub>			13,880 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	岡山工場		13,999 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	基準年度生産数量：209百万m <sup>3</sup> 目標年度生産数量：214百万m <sup>3</sup>		基準年度	目標年度
			66.9 t CO <sub>2</sub> / ( 百万m <sup>3</sup> )	64.9 t CO <sub>2</sub> / ( 百万m <sup>3</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

設備更新等によるエネルギー効率の向上を図り、効率的な生産計画による燃料使用量削減に努める。更なるCO<sub>2</sub>削減対策を検討・実施する。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

岡山工場省エネルギー推進組織（総括責任者：岡山工場長 担当部署：設備保全チーム）  
 体制：ユーティリティー点検・設備点検（日常・定期） ISO14001の取得：2004年4月30日  
 ISO取得により品質中心の会議体から環境も考慮した環境・品質会議に改め、環境に関する協議を進めることとした（月/1回実施し、内容を協議）

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍機（吸収式→ターボ式）更新：平成22年</li> <li>・ドライヤー室熱交換器設置：平成23年</li> <li>・蒸気ボイラーを高効率貫流ボイラー（重油→LNG）更新：平成24年</li> <li>・噴霧式加湿装置の増設：平成27年</li> <li>・コンプレッサー台数制御：平成29年</li> <li>・サクシヨンプロワワーのインバータ制御：平成29年</li> <li>・エージング倉庫全熱交換器設置：平成30年</li> <li>・脱臭装置熱回収ボイラー熱交換器設置：平成30年</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受変電設備更新による損失量の低減：37 t /年</li> <li>・随時蛍光灯器具をLED器具に更新（年/20台）による削減：2 t /年</li> <li>・蒸気配管保温の強化による削減：10 t /年</li> <li>・外壁塗装改修工事（遮熱塗料の使用）による削減：24 t /年</li> <li>・生産設備の空調機更新</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

・冷房設備の使用電力低減の為、「おかやま発クールビズ宣言」の参加主旨に賛同し参加宣言  
 ・0A機器の節電とこまめな消灯の徹底  
 ・屋根の断熱塗装による削減：約19 t /年